

ペーパーテスト調査等の概要

● 調査実施校：小学校 1,170校 実施児童数 120,378人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,000人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

● データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語））のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標に改善・充実。
 - ・学習の基盤となる言語能力等を支える語彙、急速に情報化が進展する社会における情報の扱い方等に関する〔知識及び技能〕の指導事項を改善・充実。
 - ・ただ活動するだけではなく、活動を通じてどのような資質・能力を育成するのかを示すため、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確化し、特に自分の考えを形成する学習過程を重視。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 語彙については、様子や行動等を表す語句について相当数の児童ができています。一方で、思考に関わる語句について課題があると考えられる設問があります。
- 情報の扱い方については、必要な語句などの書き留め方について相当数の児童ができています。一方で、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について課題があると考えられます。
- 「考えの形成」については、「書くこと」の領域において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられます。また、「読むこと」の領域において、文学的な文章を読む際に自分の考えをもつことについては相当数の児童ができています。一方で、説明的な文章を読む際に自分の考えをもつことについては課題があると考えられます。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・適切な言語活動を通して、生きて働く「知識及び技能」と未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を相互に関連させながら資質・能力を育成する指導の充実を図る。
 - ・「考えの形成」については、文章を読んで理解したことに基いて自分の知識や経験等と結び付けて考えをまとめる指導や、自分の考えを明確にして書き表し方を工夫する指導等の充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/国語）

「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例（別紙1参照）

- 環境により暮らし方について調べ、家の人たちを招いてスピーチで提案する言語活動の中で、自分の考えが伝わるように資料活用の仕方を工夫するため、情報を整理し図で表すことができるかを問う問題を出題。【通過率 59.0%】

「文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例（別紙2参照）

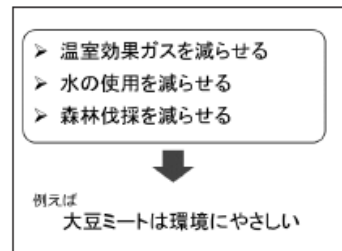
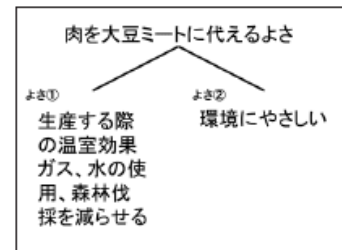
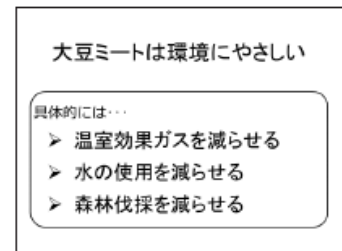
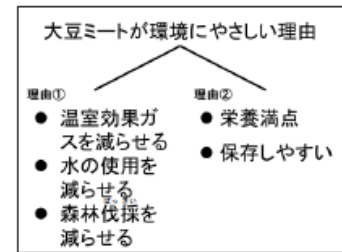
- 物語を読み、その魅力をまとめるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基いて、物語全体の魅力について自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。【通過率 80.5%】

「説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例（別紙3参照）

- 生き物について書かれた説明的な文章を読み、考えるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基いて、疑問に思ったことやもっと知りたいことについての自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。【通過率 40.4%】

「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例

【通過率 59.0%】

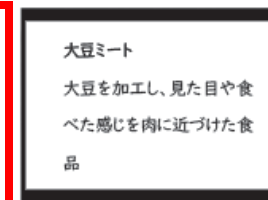
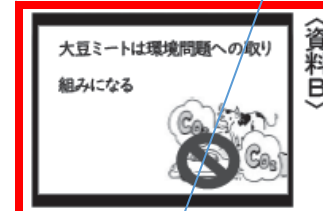
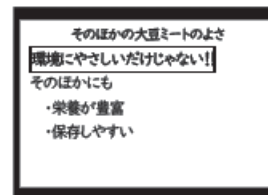
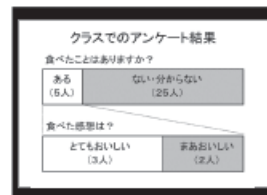


【正答】

2

1 (二) 石川さんは、スピーチの練習を聞いた友達から、「調べたこと1」の〈資料B〉は大豆ミートがどのよさに環境にやさしいかが伝わりやすくなる資料にした方がよいのではないかとアドバイスをもらいました。そこで、「調べたこと1」の内容に合わせて〈資料B〉を作り変えることにしました。次の1から4の中から、〈資料B〉に用いる資料として、最もふさわしいものを一つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

提案	アンケート結果	調べたこと2
大豆ミートを取り入れるようにして、環境にいい暮らし方をめざす一つの方法として提案したい。	大豆ミートには、環境にやさしいこと以外にもよいところがある。 (二つのよさをかんたんに説明する) ↓ 食材として取り入れやすい。	大豆ミートのよさ②…環境にやさしいこと以外 (〈資料C〉を示す) 大豆ミートには、環境にやさしいこと以外にもよいところがある。 (二つのよさをかんたんに説明する) ↓ 食材として取り入れやすい。



調べたこと1	大豆ミートとは
大豆ミートを取り入れることは、地球全体の環境問題に取り組むことにつながる。	大豆ミートとは、大豆を加工し、見た目や食べた感じを肉に近づけた食品のこと。 環境にやさしく、すぐれた食材として注目されている。

【発表メモ】

話すこと

大豆ミートを知っていますか。

(〈資料A〉を示す)

大豆ミートとは、大豆を加工し、見た目や食べた感じを肉に近づけた食品のこと。

環境にやさしく、すぐれた食材として注目されている。

大豆ミートのよさ①…環境にやさしい

(〈資料B〉を示す)

食肉の場合に比べ、三つのことを減らすことができる。

温室効果ガス (CO₂)

水の使用

森林伐採

大豆ミートを取り入れることは、地球全体の環境問題に取り組むことにつながる。

四

石川さんの学級では、環境にいい暮らし方について調べ、家の人たちを招いてスピーチで提案することになりました。石川さんは、大豆ミートについて調べて、提案することになりました。

石川さんは、資料を画面に映しながらスピーチの練習をしました。次は、石川さんの【発表メモ】と画面に映した【資料A】から【資料D】です。

国語 第6学年・考えが伝わるように資料活用の仕方を工夫するため、情報を整理し図で表すことができるかを問う問題

この問題を解く上では、情報と情報との関係を判断し、図で表す資質・能力が必要となる。ここでは、【発表メモ】「調べたこと1」に示された「環境にやさしい」という情報と、「温室効果ガス」「水の使用」「森林伐採」という情報との関係を判断し、適切に図示している資料を選択することが必要。

国語 第6学年・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもつことができるかを問う問題

この問題を解く上では、以下のような資質・能力が必要となる。

- ① 文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら理解したことについて、表現すること。
- ② 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、表現すること。

ここでは、物語全体の魅力をまとめることが必要。

・物語が進むにつれて、主人公の雨に対するとらえ方が変わっていくのがみ力だと思いました。最初は、雨がゆううつでいやなものとして書かれています。洋品店やあわむらさき色のドレスとの出会いによって雨の中を歩くのが楽しみになるなど、雨がよいものに変化していきます。（127字）

4

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 公民としての資質・能力の基礎の育成に向けて、社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決の見通しをもつ活動や社会的事象の特色や意味を考え説明する活動、社会への関わり方を選択・判断し、よりよい社会を考えようとする活動などの問題解決的な学習活動の充実を図る。
- 中学校社会科への接続・発展を視野に入れて、内容の枠組みと対象を「地理的環境と人々の生活」「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」「歴史と人々の生活」と整理し、社会科の特質を踏まえ、内容の改善を図る。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかになった成果と課題

- 資料から問いを見いだすことは相当数の児童ができているが、問題解決の見通しをもつようにすることに課題があると考えられる。
- 資料から情報を読み取ることは相当数の児童ができているが、社会的事象の特色や意味を考え説明することや、読み取ったことを基に図や文などにまとめることに課題があると考えられる。
- 社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとすることに課題があると考えられる。
- 内容により基礎的な知識及び技能の定着に課題があると考えられるものや具体的な事実に基づいて社会的事象の特色や意味を理解することに課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・学習の問題について追究・解決の見通しをもつ活動、複数の情報を関連付けて社会的事象の特色や意味を考え説明する活動、学習で身に付けた知識を使って自分で考えた図や文などでまとめる活動を重視する。
 - ・社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちにできることなどを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする活動を重視する。
 - ・内容に関しては、例えば、地理的環境の学習において基礎的な知識や技能が定着する指導や、例えば、政治の学習において具体的な事実や意義などを政治の働きと結び付けて考えるようにする指導の充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/社会）

「資料から問いを見いだすこと」の問題例（別紙1参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」を重視して、「思考・判断・表現」の観点から作成した。
- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、「問いを見いだすこと」を問う問題として、

作物の種類と生産量に着目して、問いを見いだしていることを問う問題を出題。【通過率 85.4%】

「読み取ったことを基に図や文などにまとめること」の問題例（別紙1参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」を重視して、「知識・技能」の観点から作成した。
- 「知識及び技能の育成」に関連し、「学習したことを図や文などにまとめること」を問う問題として、

資料を関連付けて、国際交流に取り組む地域の特色を説明する問題を出題。【通過率 25.9%】

「資料から問いを見いだすこと」の問題例

社会科 第3学年(2)「地域に見られる生産の仕事」 B冊子3(1)

作物の種類と生産量に着目して、問いを見いだしていることを問う問題

○資料(表)から作物の種類と生産量に着目して、見いだした問いについて
選択肢から適切なものを選ぶ問題

・資料である表と子供の言葉を関連付けて作物の種類や数量を読み取り、
追究する視点に着目した問いを見いだす。

このような問題から、社会的事象に着目して、問いを見いだす力(思考力、
判断力、表現力等)の育成の状況について測る。

3 次の表を見て、あとの問題に答えましょう。

A市で作られている作物	作られている量
トマト	30 トン
米	10 トン
ダイコン	4 トン
ニンジン	3 トン
キュウリ	2 トン

(1) 上の表を見て、せいやさんは次のぎ問をもちました。

①に入る言葉としてもっともふさわしいものを次の1から4の中から1つえらび、その番号を□の中に書きましょう。

わたしたちが住むA市で作られている作物のしゅるいと量に着目してみると、①
と思いました。



- 1 A市ではトマトを作っていないのはどうしてだろう
- 2 A市の南ではなぜ作物を作っていないのだろう
- 3 A市でトマトが多くつくられているのはなぜだろう
- 4 野さいを売る店がたくさんあるのはどうしてだろう

3

(9)

「読み取ったことを基に図や文などにまとめること」の問題例

別紙1 (問題例)

社会科 第4学年(5)「国際交流に取り組んでいる地域」 B冊子6(2)

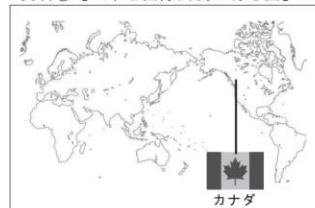
資料から読み取ったことを基に、国際交流に取り組む地域の特色を文にまとめることを問う問題

○資料から読み取ったことを基に、国際交流に取り組む地域の特色を2つの言葉を使って文でまとめる問題

このような問題から、学習で身に付けた知識を使って自分で考えた図や文などでまとめる力(知識及び技能)の育成の状況について測る。

6 国際交流がさかんなA市の取組について、資料を見てあとの問題に答えましょう。

資料①【A市と国際交流のある国】



A市では、カナダにある姉妹都市との交流がさかんで、中学生が互いの国をほう問したり、スポーツ交流会を開いたりしています。

資料②【A市での取組】



日本語を教える活動



交流会

市役所では、外国人が生活を送れるように日本語を教える活動を行っています。小学校では、外国人をまねいて小学生が外国の文化を教わる交流会を開いています。

資料③【地いき住民との交流】



お祭りにさんかする外国人

A市に住む外国人もふえてきています。地域住民が外国人たちに声をかけ、伝統のお祭りをいっしょに行うようになりました。

(2) A市の人々は、どのような「まちづくり」をめざしていますか。□の中にある2つの言葉を使って、文を完成させましょう。

特色 国際交流

このまちの人々は、

(正解例) 国際交流を特色としたまちづくりをめざしている

まちづくりをめざしている。

【通過率 85.4%】

【通過率 25.9%】

(25)

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することとした。
- 3つの柱に沿って資質・能力を示した。特に「思考力、判断力、表現力等」については、内容項目ごとに書き加えた。
- 第4学年以降に「変化と関係」領域を新設し、伴って変わる二つの数量の関係に関する内容を移行し、割合に関する内容を充実させた。また「データの活用」領域を新設し、統計に関する内容を充実させた。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 「変化と関係」領域について、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、式に表すことは相当数の児童ができているが、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、統合的・発展的に考察することについては、一定数の児童ができていないとどまっている。
- 「変化と関係」領域について、単に割合を求めることは一定数の児童ができていないが、割合を用いて比べ方を説明することについては課題があると考えられる。
- 「データの活用」領域について、単に代表値を求めることは相当数の児童ができていないが、代表値などを用いて問題の結論について判断することについては課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・ICTなどを活用して、児童が働かせた数学的な見方・考え方を共有し、既習内容との共通点を考え、統合的・発展的に考察する学習を重視することが必要。
 - ・知識及び技能を活用して、理由を説明したり、問題の結論について判断したりする学習活動を重視することが必要。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/算数）

「伴って変わる二つの数量の関係」に関する問題例（別紙1 参照）

- 今回の学習指導要領では、3つの柱に沿って資質・能力を示した。特に「思考力、判断力、表現力等」については、内容項目ごとに書き加えた。
- 「思考力、判断力、表現力等」の内容のうち、第5学年の「伴って変わる二つの数量の関係」については、
 - ①伴って変わる二つの数量の関係に着目し、式に表す問題（思考力、判断力、表現力等）を出題。【通過率 91.4%】
 - ②伴って変わる二つの数量の関係に着目し、統合的・発展的に考察する問題（思考力、判断力、表現力等）を出題。【通過率 64.8%】【通過率 60.8%】

「割合」に関する問題例（別紙2 参照）

- 今回の学習指導要領では、割合に関する内容を充実させた。
- 割合に関する内容のうち、第4学年の「簡単な場合についての割合」については、
 - ①割合を求める問題（知識及び技能）を出題。【通過率 76.1%】
 - ②割合を用いて、量の大小を判断した理由を説明する問題（思考力、判断力、表現力等）を出題。【通過率 40.7%】

「統計」に関する問題例（別紙3 参照）

- 今回の学習指導要領では、統計に関する内容を充実させた。
- 統計に関する内容のうち、第6学年の代表値の問題については、
 - ①最頻値の意味を理解して、それを求める問題（知識及び技能）を出題。【通過率 82.3%】
 - ②データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について適切に判断できるかを問う問題（思考力、判断力、表現力等）を出題。【通過率 49.9%】

「伴って変わる二つの数量の関係」に関する問題例

算数 第5学年 伴って変わる二つの数量の関係に関して、数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考察することに関する問題

○マッチ棒でつくった正方形や長方形を横に並べていったときの、正方形や長方形の数に対するマッチ棒の数を式に表す問題（思考力、判断力、表現力等）

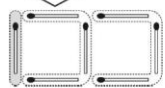
このような問題から、数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考察する能力の育成の状況について測る。

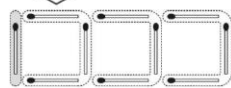
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目して、場面を基に考察して式に表すことが必要。変化している数量について統合的・発展的に捉え考察し、○や△などを用いて式に表すことが必要。似た場面について、変わっていることに着目して、統合的・発展的に考察し式に表すことが必要。

5 マッチ棒を使って正方形を横にならべた形を作っていきます。
ともきさんは使うマッチ棒の本数を下の図と式で考えました。

ともきさんの求め方

正方形 1 個のとき  $1 + 3 \times 1 = 4$

正方形 2 個のとき  $1 + 3 \times 2 = 7$

正方形 3 個のとき  $1 + 3 \times 3 = 10$

(1) 正方形の数が 5 個のときのマッチ棒の本数を、ともきさんの求め方で式に表し、その式を次の の中に書きましょう。

式 (6)

(2) 正方形の数が ○ 個のときのマッチ棒の本数を △ 本とします。
ともきさんの求め方について、○ と △ の関係を式に表します。
その式を次の の中に完成させましょう。

式 (7)

【通過率 91.4%】

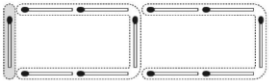
【通過率 64.8%】

(3) 横にならべていく図形を下のような長方形にしてみます。

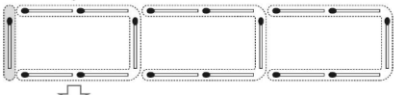
長方形 1 個のとき



長方形 2 個のとき



長方形 3 個のとき



長方形の数が ○ 個のときのマッチ棒の本数を △ 本として、○ と △ の関係を式に表し、その式を次の の中に完成させましょう。

式 (8)

【通過率 60.8%】

「割合」に関する問題例

算数 第4学年 簡単な場合について割合に関する問題

- ① ゴムひもの伸びる前と後の長さの関係を捉え、ゴムの伸びる割合を求める問題（知識及び技能）
 - ② 2種類のゴムひもの伸びる前と後の長さの関係を捉え、伸びる前の長さに応じた伸びた後の長さの大小を判断した理由を説明する問題（思考力・判断力・表現力等）
- このような問題から、割合についての資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）の育成の状況について測る。
- ・ 二つの数量の関係を捉え、一方の量がもう一方の量の何倍なのかを求めることが必要。二つの数量の関係を捉え求めた割合をもとに、量の大小を判断した理由を説明することが必要。

5 ゴムひも A とゴムひも B があります。
それぞれのゴムひもを、ある長さで切ったときに、
いっぱいまでのばした長さを調べました。

ゴムひも A		ゴムひも B	
のばす前	のばした後	のばす前	のばした後
10 cm	⇒ 30 cm	40 cm	⇒ 80 cm
20 cm	⇒ 60 cm	60 cm	⇒ 120 cm
30 cm	⇒ 90 cm	80 cm	⇒ 160 cm

ゴムひも A とゴムひも B は、それぞれ何倍のびるゴムひもといえますか。それぞれ の中に書きましょう。

ゴムひも A 倍のびる

ゴムひも B 倍のびる

【通過率 76.1%】

5 ゴムひも A とゴムひも B があります。
それぞれのゴムひもを、ある長さで切ったとき、いっ
ぱいまでのばした長さを調べました。

ゴムひも A		ゴムひも B	
のばす前	のばした後	のばす前	のばした後
10 cm	⇒ 30 cm	40 cm	⇒ 80 cm
20 cm	⇒ 60 cm	50 cm	⇒ 100 cm
30 cm	⇒ 90 cm	60 cm	⇒ 120 cm
⋮	⋮	⋮	⋮
120 cm	⇒ cm	120 cm	⇒ cm

ゴムひも A とゴムひも B をそれぞれ 120 cm に切りま
した。120 cm のゴムひも A と 120 cm のゴムひも B の、
それぞれをいっぱいまでのばした長さをくらべると、ど
ちらが長いといえますか。次の 1 から 3 の中から 1 つ選
び、その番号を の中に書きましょう。また、その理由
を、数や式や言葉を使って の中に書きましょう。

- 1 120 cm のゴムひも A をいっぱいまでのばした長
さの方が長い
- 2 120 cm のゴムひも B をいっぱいまでのばした長
さの方が長い
- 3 どちらも同じ

番号

理由

以下の番号を選んでいる反応率
番号 1 61.6%
番号 2 22.9%
番号 3 5.1%

【通過率 40.7%】

「統計」に関する問題例

算数 第 6 学年 代表値に関する問題

①最頻値の意味を理解し、それを求める問題（知識及び技能）

②データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について適切に判断できるかを問う問題（思考力、判断力、表現力等）

このような問題から、統計についての資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）の育成の状況を測る。

・最頻値の意味や求め方を理解していることが必要。さらに、中央値の意味や求め方を理解して、データの特徴や傾向に着目し、適切な代表値を用いて判断することが必要。

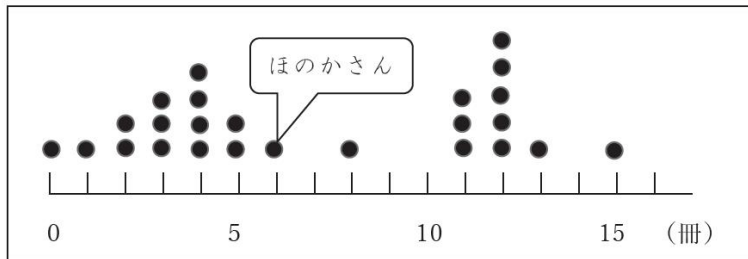
6 6 年 1 組の図書室で 5 月に借りた本の冊数を調べ、下のようにドットプロットに表しました。

1 人あたりの借りた冊数の平均値は 7 冊でした。

ほのかさんは 6 冊借りました。



5 月に借りた本の冊数（6 年 1 組 25 人）



(1) 上のドットプロットでは、最頻値は何冊ですか。次の の中に書きましょう。

最頻値 冊 (8)

ほのかさんが、「私は 6 冊借りていて、平均値の 7 冊より少ないです。だから、クラスの中では、借りた冊数が少ない方だと思いました。でも、ドットプロットを見たら、クラスの半数以上の 13 人が、私より借りた冊数が少ないです」といいました。

(2) ドットプロットを見て、ほのかさんの話のようになった理由として適切なものを次の 1 から 4 の中から 1 つ選び、その番号を の中に書きましょう。

- 1 ほのかさんは中央値より多く借りているから 49.9%
- 2 ほのかさんは中央値より少なく借りているから 19.1%
- 3 ほのかさんは最頻値より多く借りているから 6.9%
- 4 ほのかさんは最頻値より少なく借りているから 24.1%

番号 (9)

【通過率 82.3%】

【通過率 49.9%】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 理科で育成を目指す資質・能力を育む観点から、自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実
- 理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める観点から日常生活や社会との関連を重視

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を選択することや得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択することについては、相当数の児童ができています。設問がある。
- 差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を表現することについては、課題があると考えられるが、学年が上がるにつれて通過率が上がる傾向にある。また、複数の要因についてその影響を調べる状況において、条件を制御しながら解決の方法を発想し、その解決の方法を選択すること、習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すことについては、課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・問題解決の過程を通じた学習活動を重視し、個々の児童が問題を科学的に解決できるよう、指導の充実を図る。
 - ・学習したことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめ、理解を深めたり、役立っていることを捉えたりする活動を重視し、理科を学ぶことの意義や有用性を感じられるよう、指導の充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査 小学校/理科）

「差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を選択すること」の問題例（別紙1参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり、「問題解決の活動を充実」させた。
- 「問題解決の力の育成」に関連し、動物の発生や成長について、差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を選択することについて問う問題を出題。第5学年【通過率 87.9%】

「得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択すること」の問題例（別紙2参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり、「問題解決の活動を充実」させた。
- 「問題解決の力の育成」に関連し、燃焼の仕組みについて、得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択することについて問う問題を出題。第6学年【通過率 83.2%】

「差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を表現すること」の問題例（別紙3参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり、「問題解決の活動を充実」させた。
- 「問題解決の力の育成」に関連し、電流の働きについて、差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見いだし、その問題を表現することについて問う問題（各学年共通問題）を出題。

第3学年【通過率 30.0%】第4学年【通過率 44.2%】

第5学年【通過率 44.2%】第6学年【通過率 49.8%】

「習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すこと」の問題例（別紙4参照）

- 今回の学習指導要領の改訂に当たり、「日常生活や社会との関連を重視」した。
- 「知識及び技能の習得」に関連し、電流の働きについて、習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すことについて問う問題を出題。第4学年【通過率 41.3%】

「差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見だし、その問題を選択すること」の問題例

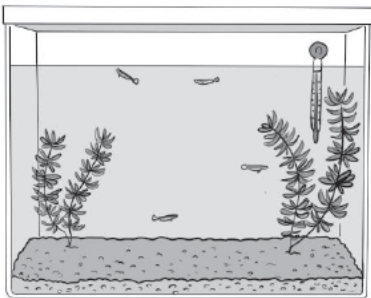
理科 第5学年 動物の発生や成長について、差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見だし、その問題を選択することについて問う問題

○メダカの卵や胎児の様子に着目して、それらを時間の経過で比較することで捉えた差異点や共通点を基に、問題を見いだすことを問う問題

この問題から、問題解決の力（思考力、判断力、表現力等）の育成の状況についてみる。

・問題を見いだすには、自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を明らかにし、それらを捉えることが必要。

2 ^{たろう}太郎さんの学級で、オスとメスのメダカを飼^かうことになり、観察を始めました。



(1) 太郎さんたちは、水草に見つけたたまごの中のようにすについて、次のように話しています。

【気づいたこと】

正子：たまごの中には、あわのようなものが見えるよ。

太郎：ここから、子メダカになっていくんだね。

正子：人は、およそ10ヶ月で赤ちゃんが生まれるけど。

太郎：はやく、子メダカが生まれえないかな。

太郎さんたちは、【気づいたこと】から調べていく問題をつくりました。どのような問題をつくるのがふさわしいと考えられますか。次の1から4の中から、ふさわしいものを1つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

- 1 人は、生まれるまでにどのくらいの時間がかかるのだろうか
- 2 メダカは、生まれるまでにどのくらいの時間がかかるのだろうか
- 3 メダカのオスとメスは、しりびれの形で見分けることができる
- 4 メダカは、水温が何度のときにたまごを産むのだろうか

【通過率 87.9%】

2

(6)

「得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択すること」の問題例

理科 第 6 学年 燃焼の仕組みについて、得られた結果から、より妥当な考えをつくりだし、その考えを選択することについて問う問題

○物が燃えるときの空気の変化に着目して、物が燃える前と物が燃えた後での空気の性質について、得られた結果から、より妥当な考えをつくりだすことを問う問題
この問題から、問題解決の力（思考力、判断力、表現力等）の育成の状況についてみる。
・より妥当な考えをつくりだすためには、自然の事物・現象を多面的に考え、複数の観察、実験などから得られた結果を基に考察することが必要。

(2) 太郎さんと正子さんは、ものを燃やす前とものを燃やした後の空気を、石灰水と酸素用気体検知管で調べたところ、下ののような結果になりました。

【実験結果】

太郎さん	正子さん
【石灰水で調べる】	【酸素用気体検知管で調べる】
〔ものを燃やす前〕 石灰水は変化しなかった	〔ものを燃やす前〕 21% ぐらい
↓	↓
〔ものを燃やした後〕 石灰水は白くにいった	〔ものを燃やした後〕 17% ぐらい
	空気中の酸素の体積の 割合が小さくなった。

太郎さんと正子さんの実験結果から、どのようなことが考えられますか。次の 1 から 4 の中から 1 つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

- 1 ものを燃やすと、酸素がすべて使われることがわかる
- 2 ものを燃やすとき、二酸化炭素が使われて酸素ができることがわかる
- 3 ものを燃やすとき、酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる
- 4 ものを燃やすと、二酸化炭素が 4 % ぐらい増えることがわかる

【通過率 83.2%】

3

(2

「差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見だし、その問題を表現すること」の問題例

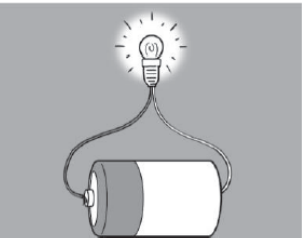
理科 第3・4・5・6学年 電流の働きについて、差異点や共通点が明らかな状況において、問題を見だし、その問題を表現することについて問う問題

○乾電池につないだ物の様子に着目して、つなぎ方と豆電球の明るさを比較することで捉えられた差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現することを問う問題
(第3学年から第6学年まで共通で出題)

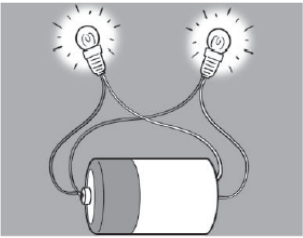
この問題から、問題解決の力(思考力、判断力、表現力等)の育成の状況についてみる。

- ・問題を見だし、表現するには、自然の事物・現象を比較し、その差異点や共通点を明らかにし、それらを捉え、見だした問題について意見交換や議論したり、ノートやICT端末に記録したりすることが必要。

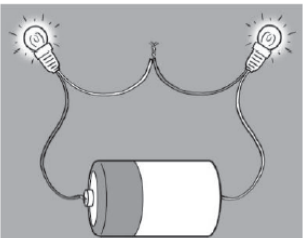
3) 太郎さんと正子さんは、下の図のように、それぞれ同じ種類の豆電球に明かりをつけて、気づいたことを話しています。



1



正子さんの
つなぎ方



太郎さんの
つなぎ方

【気づいたこと】

太郎：あれ？ぼくのつなぎ方より、正子さんの豆電球の方が
明るいよ。

正子：わたしのつなぎ方は、1のつなぎ方と明るさが同じく
らだよ。

太郎さんたちは、【気づいたこと】から調べたい問題をつく
りました。どのような問題をつくるのがふさわしいと考えら
れますか。次の□の中に書きましょう。

正答例

- ・豆電球の数によって、豆電球の明るさはどのように変わるのだろうか。
- ・豆電球をより明るくするには、どのようなつなぎ方にすればよいのだろうか。
- ・何度やっても正子さんのつなぎ方は、豆電球が明るくなるのだろうか。

(15)

第3学年	【通過率	30.0%】
第4学年	【通過率	44.2%】
第5学年	【通過率	44.2%】
第6学年	【通過率	49.8%】

「習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すこと」の問題例

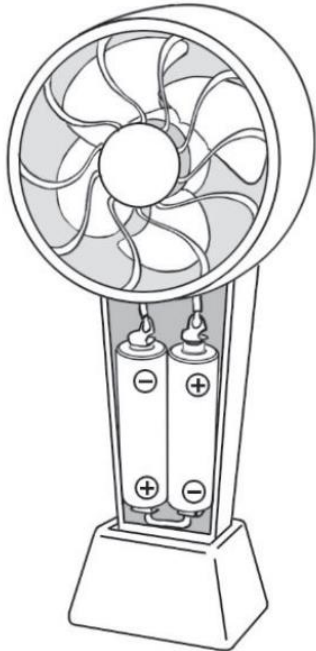
理科 第4学年 電流の働きについて、習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すことについて問う問題

○乾電池のつなぎ方を変えると電流の大きさが変わることについて、日常生活との関わりの中で捉え直すことを問う問題

この問題から、知識の習得の状況についてみる。

- ・習得した知識を日常生活との関わりの中で捉え直すには、自然の事物・現象についてのイメージや素朴な概念などを、既習の内容や生活経験、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりして、より妥当性の高いものに更新していくことが必要。

- (3) 太郎さんたちはかん電池を使ったおもちゃを組み立てることにしました。太郎さんたちが作った携帯式せん風機の電池ボックスのふたを外すと、中はこのようになっています。これは、かん電池の何つなぎですか次の□の中に書きましょう。



正答例
直列つなぎ

(28)

【通過率 41.3%】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る言語活動の充実
- 我が国や郷土の音楽のよさなどを味わえるようにする学習の充実

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 音楽を聴いたり楽譜を見たりして旋律やリズムなどの特徴を捉えること、つくったリズムの特徴や、我が国や郷土の音楽（曲や演奏）のよさなどを言葉で表すことについては、相当数の児童ができている。
- 音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を曲全体の構造と関わらせて考え言葉で適切に表すこと、音楽を形づくっている要素を聴き取り楽譜と結び付けることなどについては、課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・曲全体を捉えて、音楽表現を工夫したり曲や演奏のよさなどを味わって聴いたりするために、音楽を形づくっている要素を聴き取り、感じ取ったことと関わらせて考え言葉で表したり、楽譜と結び付けて音符や記号、用語を理解したりする指導を一層充実する。
 - ・音楽を形づくっている要素を思考・判断のよりどころとした学習活動を通して、実感を伴って「知識」を習得したり、必要性を感じながら「技能」を習得したりできるような指導の充実を図る。
 - ・生活や社会の中の音や音楽との関わりを深めるために、教科等横断的な視点を含め、音楽科の特性を生かしたカリキュラムの充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/音楽）

つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例

（別紙1参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・つくった4小節のリズムの特徴について、「伴奏のリズム」「変化」「くり返し」の言葉を1つ以上使って説明する問題を出題。
- 【通過率 87.1%】

民謡の曲や演奏のよさについて言葉で表す問題例

（別紙2参照）

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・民謡「ソーラン節」を聴き、曲や演奏のよさについて考え言葉で表す問題を出題。
- 【通過率 80.3%】

音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を考え言葉で表す問題例（別紙3参照）

第6学年 歌唱共通教材「こいのぼり」

- 主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
 - ・他者の考えた表現の工夫について、その根拠を音楽を聴いたり楽譜を見たりして、旋律の特徴や曲全体の構造と関わらせて考え言葉で表す問題を出題。

【通過率 46.3%】

つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例
音楽 第6学年 音楽づくり

・ 6 A 2 (音源を用いた問題) 参考：導入部分と(2)

2 音楽づくりについて、(1)から(3)の問題に答えましょう。
さちこさんの学級では、先生がつくった伴奏のリズムにの
て、4分の2拍子、4小節のたいこのリズムをつくる学習をし
ています。

まず、先生がつくった伴奏のリズムをききましょう。

伴奏のリズム			
ドー—ン	ドー—ン	ドー—ン	カッ カッ
			 

この伴奏のリズムをききながら、さちこさんは、次のような
リズムをつくりました。伴奏のリズムといっしょに「さちこさ
んのリズム」をきいてみましょう。

さちこさんのリズム			
ドン ドン	ドッコドッコ	ド ドン コ	ドー—ン
 		  	

(2) 今度は、あなたが4小節のリズムをつくります。

- 【つくる条件】
- ・ 下の **1** から **8** のリズムを使う。
 - ・ 同じリズムを2回以上使ってもよい。
 - ・ 「さちこさんのリズム」とはちがうリズムをつくる。

まず、**1** から **8** のリズムをききましょう。

1 ド ドン コ
  

2 (ウン) ドン
 

3 ド ドー—ン
 

4 ドッコドッコ


5 ドー—ン


6 カッ カッ
 

7 ドン ドン
 

8 ドン ドッコ
 

つくったリズムの特徴について言葉で表す問題例（続き）

音楽 第6学年 音楽づくり

音楽科 第6学年 A表現(3)音楽づくりア(7) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ることについて問う問題

○A 2(3) つくった4小節のリズムの特徴について、「伴奏のリズム」「変化」「くり返し」の言葉を1つ以上使って説明する問題

このような問題から、音楽づくりの活動を通した思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 87.1%】

(3)の正答例 ((2)でつくったリズム：8・4・3・5)

伴奏のリズムとは全ての小節でリズムが変わるようにして、前半ははずむように、後半は伸ばすように変化させた。「8」と「4」では「ドッコ」というリズムをくり返した。

(3) (2)で、あなたがつくった4小節のリズムにはどのような特ちょうがありますか。その特ちょうを、(1)の文章を参考にしながら考え、下の【使う言葉】を1つ以上使って、□の中に書きましょう。

【使う言葉】

ばん

伴奏のリズム

変化

くり返し

	あなたがつくった4小節のリズムの特ちょう
答 え	

(11)

民謡の曲や演奏のよさについて言葉で表す問題例

音楽 第6学年 鑑賞

音楽科 第6学年 B鑑賞(1)ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことについて問う問題

○音源を用いて民謡「ソーラン節」を聴き、曲や演奏のよさについて考え言葉で表す問題

このような問題から、鑑賞の活動を通した思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 80.3%】

(4) この民謡^{みんよう}のよさを、かおりさんは、次のように考えました。
 () に入る理由を音楽の特ちょうから考え、「歌声(声)」
 と「合いの手」という2つの言葉を使って、の中に書きま
 しょう。

＜かおりさんの考え＞

この民謡は、みんなで仕事をがんばろうという気持ちが感じ
 られる曲です。
 なぜそう感じたのかというと、()

(4)の正答例

「は～どっこい」という合いの手にいきおいがあって、歌声も明るく、とても明るい気持ちになるし、おうえんしているかんじがするから。

音楽を聴いたり楽譜を見たりして、音楽表現の工夫についての根拠を考え言葉で表す問題例
音楽 第6学年 歌唱

音楽科 第6学年 A表現(1) ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことについて問う問題

○他者の考えた表現の工夫について、その根拠を音楽を聴いたり楽譜を見たりして、旋律の特徴や曲全体の構造と関わらせて考え言葉で表す問題
このような問題から、歌唱の活動を通じた思考力、判断力、表現力等の育成の状況について測る。

【通過率 46.3%】

(3)の正答例
3段目の後半から、だんだん音が高くなり、4段目のはじめの音が、この曲の中で一番高い音になっているから。

(3) えまさんは、この歌の4段目の表現の仕方について、次のような思いをもちました。

わたしは、こいのぼりが風にふかれて勢いよく泳いでいる様子が伝わるように、3段目から4段目へのつながりを意識して、4段目のはじめを一番盛り上げて歌いたと思います。

えまさんがなぜそう思ったのか、「音の高さ」や「3段目から4段目へのつながり」に注目して、旋律の特ちょうから理由を考え、□の中に書きましょう。

3 段 目



4 段 目



答
え

(5)

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を一層重視
 - ・「A表現」及び「B鑑賞」の指導内容の明確化
 - ・第5、6学年で、鑑賞の対象に「生活の中の造形」を位置付ける
 - ・表現や鑑賞の活動で共通に必要な資質・能力〔共通事項〕の改善

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 想像したことから表したいことを見付けることは相当数の児童ができています。
- 生活の中の造形の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることは相当数の児童ができています。
- 我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形の表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めることに課題があると考えられる。
- 表現方法に応じて材料や用具を活用すること、形や色などの造形的な特徴である、動き、奥行きを理解することに課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・児童が実際に見たり、触ったりするなどして、様々な感覚を働かせることができる活動を設定するとともに、材料や用具の効果や可能性に気づき、思いに合わせて工夫して表す過程を重視した指導を行う。
 - ・児童が自分のイメージをもちながら、発想や構想をすることを楽しくめるよう題材の設定を工夫するとともに、比べて見る、対象を自分で選ぶなど、発達の段階や特性を踏まえた多様な鑑賞の活動を経験できるようにする。
 - ・児童がよりよい未来や生活への夢や願いをもったり想像したりすることを大切にし、感性を働かせ、つくりだす喜びを味わえるようにする。

4. 調査問題例（ペーパーテスト、実技 小学校/図画工作）

「想像したことから表したいことを見付けること」の問題例（別紙1、2参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、コンパスの働きを基に想像したことから、生き物について発想や構想をする問題を出題。
【通過率 88.7%】

「生活の中の造形の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例（別紙3参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、自分が選んだカレンダーの絵から感じ取ったことを、絵に表された対象の形や色などを基に説明する問題を出題。
【通過率 81.4%】

「我が国の親しみのある美術作品の表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例（別紙4参照）

- 「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連し、『昌平橋聖堂神田川』を鑑賞して、雨がやみそうだと感じた理由を雨、雲、空以外の形、色、動きを基に説明する問題を出題。
【通過率 53.3%】

「表現方法に応じて材料や用具を活用すること」の問題例（別紙5参照）

- 「技能の習得」に関連し、カッターナイフを活用し、表したいことに合わせて切り抜いたり切り起こしたりして工夫して立体に表す問題を出題。
【通過率 68.3%】

図画工作 第6学年 コンパスの働きを基に想像したことから、生き物について発想や構想をする問題

この問題から、「思考力、判断力、表現力等（発想や構想）」が育成されている状況について調査した。

○配付されたコンパスを実際に動かして、コンパスの働きを確かめながら想像したことから表したいことを見付け、主題をどのように表すかについて考えることができる。

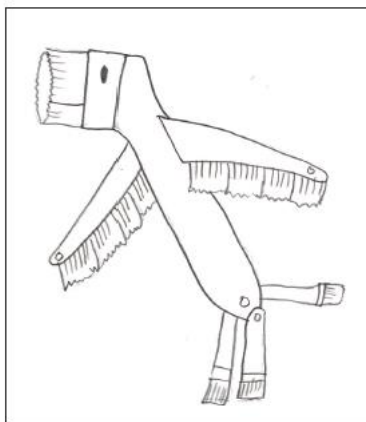
1 明子さんは、図画工作の時間に、絵の具と刷毛を使って絵に表す活動をしました。

刷毛をいろいろな向きで使っていると、まるで刷毛が生き物のように見えてきました。



6図A-2

活動の後に、明子さんは刷毛から生き物を想像し、絵にしてみました。



明子さん

左の絵は鳥です。
羽を使って、色をぬることが出来ます。



太郎さん

「刷毛の全体の形」を体にして、足や尾も全体の形を小さくして組み合わせているね。
羽は、「刷毛」の毛の部分の形を組み合わせているよ。



花子さん

「刷毛」の毛をさわって、羽や尾にすることを思いついたのかな。



次郎さん

「刷毛でできること」をもとにして考えたんだね。

6図A-3

明子さんは、さらに、鳥が色をぬっている場面を想像して絵に表しています。



次郎さん

鳥が空を飛び回っているよ。



太郎さん

そうだね。鳥の体のかたむきや、羽を広げている様子から、鳥が飛んでいるような動きが伝わってくるね。



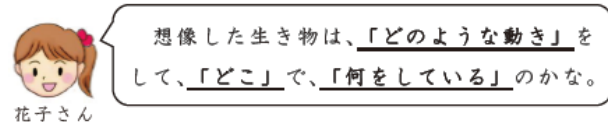
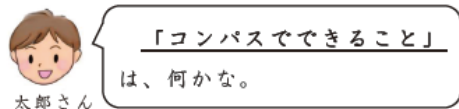
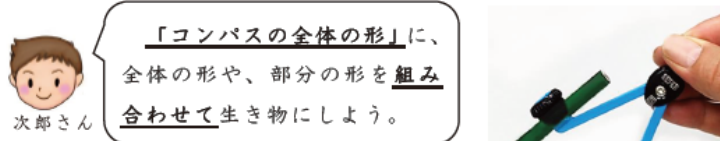
花子さん

周りの様子をかくことで、どこで、何をしているのか、伝わるようになるね。

6図A-4

3人は、明子さんのように、身の回りにある用具から1つ選んで絵に表したいと思いました。

そこで、コンパスを選び、見たりさわったりして考えました。



(1) あなたも、「コンパスの形」と「コンパスでできること」をもとに生き物を考え、その生き物が、どのような動きで、どこで、何をしているか想像して表しましょう。そして、それが伝わるように周りの様子も表しましょう。

その際、次の条件に当てはまるようにします。

条件

- ① 生き物は、「コンパスの全体の形」に、全体や部分の形を組み合わせて考える。
- ② 生き物は、「コンパスでできること」をもとに考える。
- ③ 周りの様子は、その生き物が「どのような動き」で、「どこ」で、「何をしている」のか考えてかく。

まず、配られたコンパスをいろいろな方向から見たり、動かしたりして、形の特ちょうや、できることを確かめましょう。

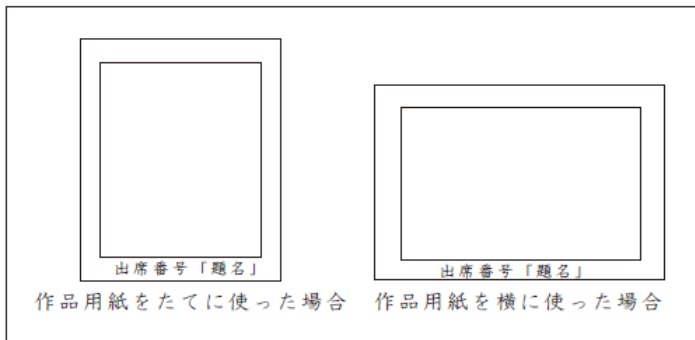
※作品用紙は、たてと横のどちらの向きで使ってもよいです。

※コンパスについている鉛筆は、取り外さないで使います。また、針の先でけがをしないように気をつけましょう。

※この冊子の空いているところは、アイデアスケッチをする場所として自由に使ってよいです。

・絵に表し終わったら、下の例のように、作品用紙のわくの下に出席番号と題名を書きましょう。

例



(2) 7ページの作品の説明例を参考にしながら、自分の作品の説明を、8ページの□の中に書きましょう。

条件② 正答例

コンパスの働き（円をかく、線をかく、長さを測り取る、閉じたり開いたりする、回る、針を刺す、穴をあける）を基に想像し、生き物の発想や構想をしていることが絵から分かる。

条件②【通過率 88.7%】

図画工作 第6学年 自分が選んだカレンダーの絵から感じ取ったことを、絵に表された対象の形や色などを基に説明する問題

この問題から、「思考力、判断力、表現力等（鑑賞）」が育成されている状況について調査した。

○自分たちの教室で使ってみたいカレンダーを選び、見る人のことを考えながら全体の印象について感じ取るとともに、そう思った理由について絵に表された対象の形、色、形や色の組み合わせなどを根拠に考えることができる。

(3) 花子さんは、話し合っていく中で、身の回りのものには、様々な形や色などの特ちょうがあると分かりました。

そこで、分かったことをもとに、3種類の同じ月のカレンダーを見比べて、自分たちの教室で使うカレンダーを選ぼうと思いました。



花子さん

同じ4月のカレンダーでも、比べて見ると
形や色などの特ちょうがちがうね。
私たちの教室で使うカレンダーは、どれが
いいかな。1つ選んでみよう。



次郎さん

教室で使ったとき、見る人がどのように感じる
か考えたいね。

A



B



C



① あなたなら、A、B、Cの3種類のカレンダーのうち、どれを自分たちの教室で使ってみたいと思いますか。

選んだカレンダーの記号を、次の□の中書きましょう。



② あなたが選んだカレンダーを教室で使ったら、見る人はどのように感じると思いますか。

また、そう思った理由を、あなたが選んだカレンダーの「形」、「色」、「形や色の組み合わせ」をもとに、それぞれ次の□の中書きましょう。

見る人はどのように感じるか	そう思った理由 「形」、「色」、「形や色の組み合わせ」をもとに

②正答例

A 楽しい感じ：大きさの違うチョウがかかれていて、空を舞っているようだから など

B ゆったりとした感じ：タンポポがだんだん小さくかかれていて奥に広がりを感じるから など

C にぎやかな感じ：風船や汽車が鮮やかな色でかかれているから など

②【通過率 81.4%】

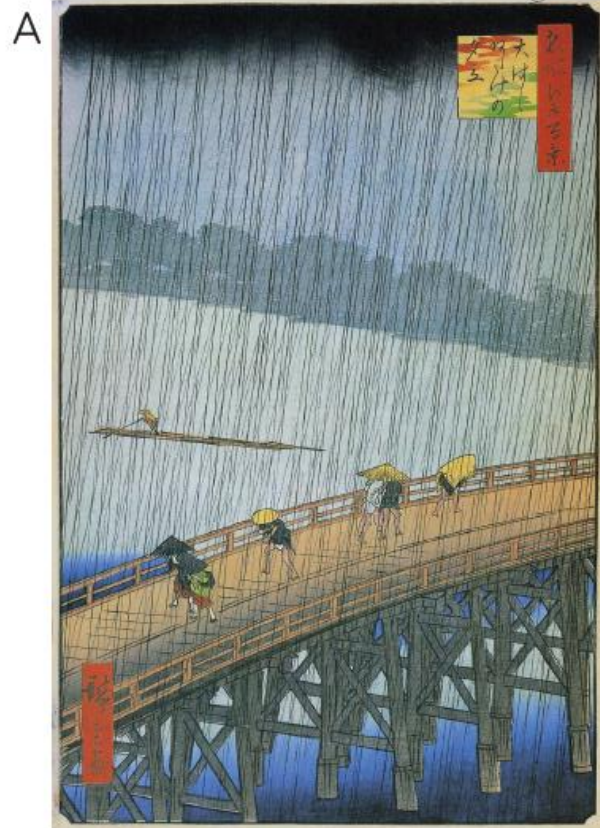
「我が国の親しみのある美術作品の、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」の問題例

別紙4（問題例）

図画工作 第6学年 『昌平橋聖堂神田川』を鑑賞して、雨がやみそうだと感じた理由を雨、雲、空以外の形、色、動きを基に説明する問題

この問題から、「思考力、判断力、表現力等（鑑賞）」が育成されている状況について調査した。

○2枚の絵を比べたり、じっくり見たりして、次郎さんが雨が止みそうに感じた理由について絵の中から着目する対象を自分で選び、その形や色、動きなどを根拠に考えることができる。



(2) 次郎さんは、太郎さんと花子さんとは、別のことを感じ取りました。



次郎さん

Bの絵からは、もうすぐ雨が止みそうに感じるよ。

次郎さんが、Bの絵からもうすぐ雨が止みそうだと感じたのは、どのような理由からでしょうか。

次の①と②のそれぞれについて書きましょう。

① 理由を、「雨」、「雲」、「空」から1つ選び、その「形」、「色」、「動き」をもとに、次の□の中に書きましょう。

選んだものに○をつけましょう。	もうすぐ雨が止みそうだと感じた理由 「形」、「色」、「動き」をもとに
雨 雲 空	

(17)

② 理由を、「雨」、「雲」、「空」以外のものから1つ選び、その「形」、「色」、「動き」をもとに、次の□の中に書きましょう。

選んだものを書き ましょう。	もうすぐ雨が止みそうだと感じた理由 「形」、「色」、「動き」をもとに

②【通過率 53.3%】

- ②正答例
- ・山：明るい緑色で、日の光が当たっているようだから。
 - ・鳥：連なって森から飛び立っているようだから。
 - ・木：緑がはっきりと見えているから。
 - ・人：姿勢がまっすぐでゆっくり歩いているように見えるから。
 - など

図画工作 第6学年 カッターナイフを活用し、表したいことに合わせて切り抜いたり切り起こしたりして工夫してタワーに表す問題

この問題から、「技能」が習得されている状況について調査した。※実技調査においては、調査の設計上、調査対象数(学校数・児童数)が限定されている

○紙を材料に使って自分が表したいと思ったタワーを立体に表す際、表したいことに合わせて適切な用具を選び、効果や可能性を確かめ、生かして使うことができる。

この問題では、紙を使ってタワーをつくります。

みなさんの机の上に、次のものがあります。

はさみ、カッターナイフ、定規、接着剤、土台にする紙1枚、手ふき、接着剤をつけるときに下にしく紙、カッターマット、袋に入った紙8枚

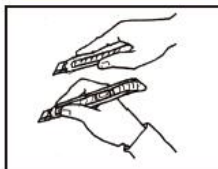


用具を安全に使うために、次の注意をよく読みましょう。

＜カッターナイフ＞



・刃は、2めもり出します。



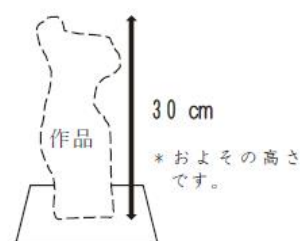
- ・大きな形を切るときは、上からおさえるように持ちます。
- ・小さな形を切るときは、鉛筆のように持ちます。
- ・切る形の大きさに合った持ち方で切りましょう。



- ・カッターマットの上で切ります。
- ・刃が進む方向に手を置きません。

指示があるまで中を開かないでください。

- 1 紙で立体の形を6個以上つくり、土台にする紙の上に組み合わせ、高さがおよそ 30 cmのタワーをつくります。



まず、袋に入っている紙を使い、立体の形を6個以上つくります。そのとき、カッターナイフを使って、切りぬいたり切り起こしたりするなどしていきます。そして、つくった立体の形どうしを、つけたりつないだりして組み合わせます。

いろいろな方法でタワーをつくることができそうですね。

方法の例

立体の形をつくる



折る・まるめる など

カッターナイフを使って切る



切りぬく・切り起こす など

立体の形をつけたりつないだりする



のりしろをつくってはる など



切りこみを入れて差しこむ など

あなたがつくってみたいと思う形のタワーを、いろいろな方向から見ながら、表し方を工夫してつくっていきましょう。

その際、次の条件に当てはまるようにします。

条件

① 立体の形を6個以上つくり、取れないようにじょうぶに組み合わせてつくる。

② カッターナイフを使い、切りぬいたり切り起こしたりするところを、全体で3か所以上つくる。

③ 高さは、およそ 30 cmにし、タワーの形全体のバランスに着目してつくる。

※紙は、なるべく使い切りましょう。

※タワーは、土台の紙に取れないようにはりつけましょう。

「始めましょう」という指示があってから、つくり始めます。それまで、紙を見たりさわったりしながら、どのようなタワーをつくりたいか考えましょう。

条件②【通過率 68.3%】

- 2 5ページの作品の説明例を参考にしながら、自分の作品の説明を、6ページの□の中に書きましょう。

説明を書く時間は、作品をつくった後に10分間あります。

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容を充実
- 知識及び技能を活用しながら、家族や家庭、衣食住、消費や環境など身近な生活の課題を解決するための内容を充実
- 生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 身近な生活の課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」の育成については、具体的な生活場面をイメージして解答する出題に対して、日常生活を見つめ、物の使い方などの問題を見だし、解決すべき課題を設定することについては、相当数の児童ができている。
- 日常生活に必要な「知識及び技能」の習得については、材料に適したゆで方等に関する事実的な知識の習得に加え、学習内容の本質を深く理解するための概念としての習得にも課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・日常生活に必要な知識及び技能の確実な習得のために、実践的・体験的な活動を通して、生活事象の根拠などについて実感を伴った理解を深められるよう、指導の工夫を図る必要がある。
 - ・既習の知識及び技能や生活経験を基に具体的な生活場面をイメージする中で、解決すべき課題を設定できるよう指導を工夫し、引き続き問題解決的な学習の充実を図る必要がある。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/家庭）

「身近な生活の課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』の育成」の問題例（別紙1参照）

- 生活の中から見いだした問題に対して、解決すべき課題を設定する力が育成されているかを確認するための問題を出題。

環境に配慮した生活を営むために、物の使い方や捨て方などの問題（生活の中にある「もったいないこと」）に対して、ふさわしい課題を選択する。
【通過率 84.0%】

「日常生活に必要な『知識及び技能』の習得」の問題例（別紙2参照）

- 学習指導要領における指定題材である青菜とじゃがいもについて、適切にゆでる方法を理解しているかを確認するための問題を出題。

<ほうれんそうのゆで方>

- ①ふさわしいゆで方の選択／その理由の説明

【通過率 選択：70.2% 説明：28.3%】

- ②ゆでた後の冷まし方の選択／その理由の説明

【通過率 選択：54.0% 説明：12.0%】

<じゃがいものゆで方>

- ③ふさわしいゆで方の選択／その理由の説明

【通過率 選択：60.0% 説明：17.7%】

- ④ゆでた後の冷まし方の選択／その理由の説明

【通過率 選択：55.7% 説明：12.8%】

「身近な生活の課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』等の育成」の問題例

家庭 第5学年及び第6学年 内容C(2)イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫することについて問う問題

○生活の中から見いだした問題に対して、解決すべき課題を設定する力が育成されているかを確認するための問題

- ・出題文中にある「生活の中にある『もったいないこと』」(日常生活の中から見いだした問題)に対して、取り組むべきふさわしい課題を選択できたかどうかを確認するための出題とした。

9 Jさんたちは、自分たちの生活が環境に影響を与えていることを知り、生活を改善しようと考えました。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

- (1) Jさんたちは、自分たちの生活の中にある「もったいないこと」をグループで出し合い、取り組む課題を決めました。グループの課題としてふさわしくないものはどれですか。次の1から4の中から1つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

生活の中の「もったいないこと」(Jさんのグループ)

- ・テレビや照明器具をつけたままねていることがある。
- ・入浴や食器洗いで、水をたくさん使っている。
- ・資源ごみを燃やすごみに入れて捨てていることがある。
- ・着られなくなった服を毎年捨てている。
- ・料理を作り過ぎて、食べ残すことがある。

- 1 電気の使い方を見直し、電気エネルギーを大切にしよう
- 2 水の使い方を見直し、工夫できる方法を考えて、水を大切にしよう
- 3 ごみ置き場のそうじの仕方を工夫して、快適な生活をしよう
- 4 物を生かす工夫を考えて、ごみを減らそう

【正答】

3

(27)

【通過率 84.0%】

「日常生活に必要な『知識及び技能』の習得」の問題例

家庭 第5学年及び第6学年 内容B(2)ア(イ) 材料に適したゆで方、いため方を理解し、適切にできることについて問う問題

○学習指導要領における指定題材である青菜とじゃがいもについて、適切にゆでる方法を理解しているかを確認するための問題

- ・学習指導要領では、ゆでる調理における理解を促すために青菜とじゃがいもを指定題材としていることから、ほうれんそうとじゃがいものふさわしいゆで方（ゆでる手順のうち、ゆで方、冷まし方を取り上げた）を確認するための出題とした。
- ・①～④の選択（事実的な知識）に正答した場合であっても、選んだ理由を正しく記述できていない児童が多かった。その理由を適切に説明できるようにすることが、個別の事実的な知識を概念として習得するために重要であり、他の材料の「ゆで方」「冷まし方」の理解につながると考えられる。

6 Fさんは、ゆでる調理の学習をしました。次の(1)から(5)の問題に答えましょう。

(3) ほうれんそうとじゃがいもをゆでるときのゆで方とゆでた後の冷まし方について、よりふさわしい方法をAとB、CとDから1つずつ選び、その記号を□の中に書きましょう。また、そのゆで方とゆでた後の冷まし方を選んだ理由を□の中に書きましょう。



ほうれんそう



じゃがいも

①選択	【通過率 70.2%】	説明	【通過率 28.3%】
②選択	【通過率 54.0%】	説明	【通過率 12.0%】
③選択	【通過率 60.0%】	説明	【通過率 17.7%】
④選択	【通過率 55.7%】	説明	【通過率 12.8%】

【正答】 【正答例】

ほうれんそう		記号	選んだ理由	
ゆで方	A 水からゆでる	B	①選択 ふつとうした湯でゆでた方が色がきれいだから	①説明 (11)
	B ふつとうした湯でゆでる			
冷まし方	C 水につける	C	②選択 水につけた方が速く冷ますことができるから	②説明 (12)
	D ざるに移す			

じゃがいも		記号	選んだ理由	
ゆで方	A 水からゆでる	A	③選択 ふつとうした湯でゆでると表面だけ速く加熱されてしまうから	③説明 (13)
	B ふつとうした湯でゆでる			
冷まし方	C 水につける	D	④選択 水につけると水っぽくなってしまうから	④説明 (14)
	D ざるに移す			

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 「知識及び技能」として、知識を技能と関連付けて示す。
- 「思考力、判断力、表現力等」として、表現力を新たに示す。
- 「学びに向かう力、人間性等」として、従前に引き続き内容を示すとともに、共生の視点を新たに示す。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 互いの動きや考えのよさを認め合うことのように運動やスポーツの価値である、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全等に関する態度の理解については、相当数の児童ができている。
- 体ほぐしの運動の目的の理解や、クロールにおける自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫することに関する思考力、判断力については課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・体ほぐしの運動の目的や必要性について、教師が理解し、授業において丁寧に言葉で児童に説明したり、活動を通して理解できるようにしたり、活動後に価値付けたりするなどして、その意味を児童が理解できるようにする。
 - ・クロールの呼吸の仕方に関する課題に応じた様々な練習方法について、教師が理解し、授業において適切に児童に提示することが求められる。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/体育科（運動領域））

「互いの動きや考えのよさを認め合うこと」の問題例（別紙1参照）

- 今回の学習指導要領改訂により、「共生」の視点が新たに示された。
- 「学びに向かう力、人間性等」に関連し、共生の理解を問う問題を出題。 【通過率 90.6%】

※本調査は、「学びに向かう力、人間性等」に関する理解度を把握するものであることに留意が必要である。

「体ほぐしの運動の目的を理解すること」の問題例（別紙2参照）

- 前回調査では、体ほぐしの運動の目的の理解に課題があると考えられた。
- 「知識及び運動」に関連し、体ほぐしの運動の目的を理解することを問う問題を出題。 【通過率 37.0%】

「クロールの自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫すること」の問題例（別紙2参照）

- 前回調査では、クロールの自己の能力に適した課題の解決の仕方の思考・判断に課題があると考えられた。
- 「思考力、判断力、表現力等」に関連し、課題の解決の仕方を工夫することの理解を問う問題を出題。 【通過率 38.5%】

「互いの動きや考えのよさを認め合うこと」の問題例

体育科 第6学年 (3) 互いの動きや考えのよさを認め合うことの理解を問う問題

この問題から、運動やスポーツの価値の一つである共生に関する「学びに向かう力、人間性等」の理解度を測る。

○互いの動きや考えのよさを認め合うことの大切さを理解していることが必要。

(6) 表現の授業で、各グループで工夫した「はじめ-なか-おわり」のある簡単なひとまとまりの動きを、ペアグループで見せ合い話し合っています。

お互いのグループの課題解決に向けて取り組む話し合いの行動として、最も適しているものを次の 1 から 4 の中から 1 つ選び、その番号を に書きましょう。

また、それを選んだ理由を に書きましょう。

- 1 ペアグループの仲のよい人のよくなった動きをほめる
- 2 ペアグループの動きがよくなっている、はずかしいので自分からはほめない
- 3 ペアグループの動きのよくなったところをほめる
- 4 ペアグループの動きのよくなったところに関心がないので発言しない

(29)

【通過率 90.6%】

「体ほぐしの運動の目的を理解すること」の問題例

体育科 第6学年 （1）体ほぐしの運動の目的を理解を問う問題

この問題から、体ほぐしの運動の目的の一つである、仲間のよさを認め合ったり、関わり合ったりすることに関する「知識及び運動」の知識の習得の状況を測る。
○体ほぐしの運動の目的を理解していることが必要。

1 体育の授業を思い出しながら、あとの問題に答えましょう。

(1) Aさんは、体育の授業の中で、体ほぐしの運動を行いました。
授業の中で行った運動は下の図にある4つです。これらの4つの体ほぐしの運動の目的として、最も適しているものはどれでしょうか。
次の1から4の中から1つ選び、その番号を□の中に書きましょう。



みんなでリズムを合わせて
はさむ運動



円になって背中や肩をゆす
たりたたいたりする運動



風船サッカー



手つなぎおにごっこ

- 1 カ強い動きを高めること
- 2 自分の思いどおりに体を動かす力を高めること
- 3 体のやわらかさを高めること
- 4 仲間のよさを認め合ったり関わり合ったりすること

4 (1)

【通過率 37.0%】

「クロールの自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫すること」の問題例

体育科 第6学年 （2）クロールの自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫することを問う問題

この問題から、自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫する「思考力、判断力、表現力等」の思考力、判断力の育成の状況を測る。
○課題の解決のために、自己の課題に応じた練習の仕方を理解していることが必要。

14 水泳の授業で、クロールを学習しています。あなたはクロールの息づきがうまくできません。
息づきができるようになるための練習として最も適している練習を次の1から4の中から1つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

- 1 ビート板を使って、やわらかく足を交ごに曲げたりのばしたりする練習
- 2 プールのかべをつかみ、体を左右にかたむけながら顔を前に上げて呼吸をする練習
- 3 プールの中で、歩きながら手のかき息づきを合わせる練習
- 4 クロールで25mを仲間と競争する練習

3 (15)

【通過率 38.5%】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に対応した目標、内容に改善する。
- 自己の健康の保持増進や回復等に関する内容を明確化し、「技能」に関連して心の健康、けがの防止の内容の改善を図るとともに、運動領域との一層の関連を図った内容等について改善する。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 「知識及び技能」の習得の観点から、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容については、相当数の児童ができていますが、日常生活において捉えにくい内容については、課題があると考えられる設問がある。
- 「思考力、判断力、表現力等」の育成の観点から、保健の授業で学んだ内容を分類・選択することについては相当数の児童ができています設問がある一方、健康の原則や概念と具体的な生活・行動とを結び付けて考えることについては、課題があると考えられる設問がある。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・健康・安全に関する基礎的な内容を踏まえ、日常生活において捉えにくい内容について、より理解を深めることができるような指導を重視
 - ・生活経験や学習を通して持っている知識と、保健の授業で新たに学んだことを比較したり、関連付けたりすることができるような指導を重視
 - ・身近な健康情報から課題を発見し、解決する方法を選択したり、その理由を説明したりすることができるような指導を重視

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/保健）

「健康・安全に関する基礎的な内容」に関する問題例

（別紙1参照）

- 健康によい環境を整えることについての説明から、正しい説明を選択する問題を出題。【通過率 93.9%】

「授業で学んだ内容を分類・選択すること」に関する問題例

（別紙2参照）

- 「自転車転倒事故の発生原因となった、人の行動とまわりの環境」を選択する問題を出題。
 人の行動 【通過率 93.1%】
 まわりの環境 【通過率 90.7%】

「日常生活において捉えにくい内容」に関する問題例

（別紙3参照）

- 「地域の様々な保健活動」を行っている場所を記述する問題を出題。【通過率 40.8%】

「健康の原則や概念と具体的な生活・行動とを結び付けて思考・判断し、表現する力の育成」に関する問題例

（別紙4参照）

- 「心と体の密接な関係」について、心と体の影響の具体例を選択する問題を出題。
 「体から心への影響」の具体例を選択する問題（体調がよいと「やる気が出る」を選択した児童）【通過率 59.4%】
 「心から体への影響」の具体例を選択する問題（不安があると「おなかが痛くなる」を選択した児童）

【通過率 39.1%】 34

「健康・安全に関する基礎的な内容」に関する問題例

体育科（保健領域） 第3学年（1）健康な生活

毎日を健康に生活するために大切なことを整理する問題のうち、室内環境の換気について問う問題

このような問題から、健康を保持増進するために生活環境を整えることについて、定期的に換気することの必要性に関する知識の習得状況を測る。

(3) 健康によい環境を整えることについての説明として、最も適切なものはどれですか。次の1から4の中から1つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

- 1 ほこりやにおいなどで部屋の空気が汚れていなければ、空気の入
れかえはしなくてもよい
- 2 冷房中は、部屋の空気を入れかえる回数を減らし、エネルギーを
節約するとよい
- 3 部屋の中の空気が汚れているかどうか分からなくても、時間を決
めて空気の入れかえをするとよい
- 4 暖房中は、部屋の温度を一定に保つために、空気を入れかえる回
数は少なくしたほうがよい

3

7

【通過率 93.9%】

体育科（保健領域） 第5学年（2）けがの防止 自転車転倒事故の発生の原因を問う問題

交通事故を予防するための原則や概念について習得した知識を活用し、交通事故の事例から具体的な事故の発生の原因となったことを「人の行動」と「まわりの環境」に分類・選択する問題
このような問題から、危険の予測や回避の方法に関する「思考力、判断力、表現力等」の育成状況を測る。

この前、友達のももかさんと2人で、自転車に乗って遊びに出かけたときのことなのですが…。

ももかさんと遊びに行くのをとても楽しみにしていたので、うれしくて1 スピードを出しすぎてしまいました。すると、2 「止まれ」の標識があったのでブレーキをかけました。そうしたら、ちょうど3 地面に水たまりがあって、4 タイヤがスリップしてバランスをくずして転んでしまいました。



(2) 交通事故や身の回りの危険などは、人の行動や、まわりの環境が関わり合って起こります。

さくらさんは、この前自転車で転んでしまったことを、グループのみんなに話しました。その内容を読んで、転とう事故のおもな原因となった「人の行動」、「まわりの環境」に当てはまるものを、下線部1から4の中からそれぞれ1つずつ選び、その番号を□の中に書きましょう。

人の行動 1 (27)

まわりの環境 3 (28)

人の行動 【通過率 93.1%】
まわりの環境 【通過率 90.7%】

「日常生活において捉えにくい内容」に関する問題例

体育科（保健領域） 第6学年（3）病気の予防

「地域の様々な活動」が行われている場所を問う問題

地域における保健に関わる様々な活動を示し、それらの活動が行われている場所を記述する問題
 このような問題から、地域で行われている保健に関わる様々な活動について「知識」の習得状況を測る。

ひろしさんが病気の予防について教科書で調べていると、地域では人々の健康を守るために、次のような活動を行っていることを見つけました。

【正答例】

保健所、保健センター

【通過率 40.8%】

1 予防接種

2 赤ちゃんの健康診断^{しん}

3 健康教室



4 健康診断や検査



5 電話での健康相談



6 健康に関するお知らせ



病院のほかに、上のイラストの活動を行っているところはどこでしょうか。□の中に当てはまる言葉を書きましょう。

「健康の原則や概念と具体的な生活・行動とを結び付けて思考・判断し、表現する力の育成」に関する問題例

体育科（保健領域） 第5学年（1）心の健康

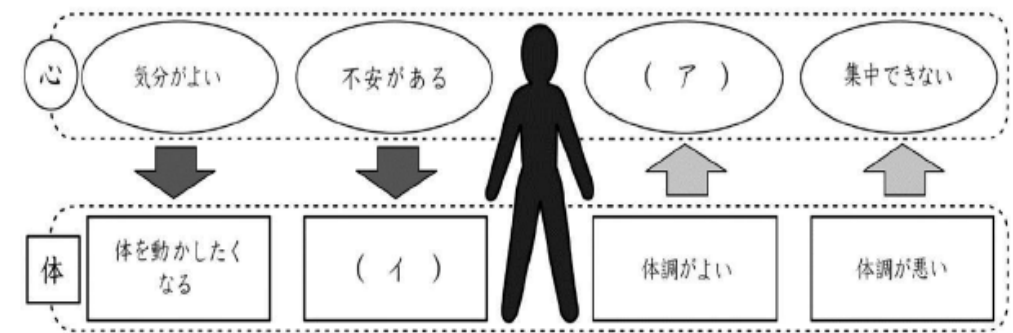
「心と体の密接な関係」について、「体から心への影響」と「心から体への影響」を問う問題

心と体の密接な関係に関する原則や概念について習得した知識を基に、「体から心への影響」の具体例、「心から体への影響」の具体例を選択する問題
このような問題から、心と体の関係に関する原則や概念と具体的な影響の関連について「思考力、判断力、表現力等」の育成状況を測る。

ア【通過率 59.4%】

イ【通過率 39.1%】

(2) ゆうこさんは、心と体の関係について調べた結果を、下の図のようにまとめました。次の①、②の問題に答えましょう。



① ゆうこさんのまとめた上の図について、(ア)と(イ)にはどんな言葉が入りますか。次の1から4の中からそれぞれ1つずつ選び、その番号を□の中に書きましょう。

- 1 やる気が出る
- 2 体が軽い
- 3 やる気が出ない
- 4 おなかが痛^{いた}くなる

ア 1 (19) イ 4 (20)

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 中学年に外国語活動、高学年に外国語科を導入。小・中・高等学校で一貫した学びを重視し、高学年で五領域の英語の目標を設定し、音声中心の指導を行い、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」において、いずれも相当数の児童ができている設問が多く見られる。
- 「聞くこと」において、日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えることや、「読むこと」において、メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること、「書くこと」において、音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選んだり、例文を参考にしたりして書くことは、相当数の児童ができている。なお、文を書き写すことに課題がある児童は、外国語の他の技能でも困難さを抱える場合が多い。
- 「話すこと」「やり取り」において、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことは、相当数の児童ができている。一方で、「話すこと」「発表」において、伝えようとする内容を整理した上で話すことについては、通過率が他の問題より低い。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・平成29年改訂のポイントを踏まえつつ、全ての領域においてコミュニケーションを行う目的や場面、状況等を意識した言語活動を通じた指導を重視。
 - ・「話すこと」「発表」で、伝えようとする内容を整理した上で話すことの継続的な指導の充実。
 - ・「書くこと」で、表記ルールに留意し、系統的・継続的な指導をより重視。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/外国語）

「日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えること」の問題例（別紙1参照）

- 会話を聞いて、目的を達成するために足りない情報が何かを問う問題を出題
【通過率 89.1%】

「メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること」の問題例（別紙2参照）

- おすすめの国について書かれたパンフレットを読み、内容に合うイラストを選ぶ問題を出題
【通過率 86.6%】

「音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くこと」「例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くこと」の問題例（別紙3参照）

- I likeに続けて自分の好きなものやことを語群から選ぶなどして書く問題を出題
【通過率 99.0%】

- 自分のことを相手に知ってもらうために、例文を参考にしながら、相手に伝わるように自分を紹介する文を書く問題を出題
【通過率 79.5%】

【実技調査（話すこと）】

「自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うこと」の問題例（別紙4参照）

- 好きなものなどについて尋ねられたことに答える問題を出題
【通過率 94.4%】
- 相手のことをよく知るために質問する問題を出題
【通過率 85.6%】

「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと」の問題例（別紙5参照）

- 自分のことを相手に知ってもらうために、小学校生活の思い出について自分の考えや気持ちなどを含めて話す問題を出題

【(知識・技能)通過率 62.2%】 【(思考・判断・表現)通過率 62.5%】

「日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えること」の問題例

外国語 第6学年「聞くこと」 大問4

○会話を聞いて、目的を達成するために足りない情報が何かを問う問題

- ・簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話を、メモを参考にしながら聞いて、話の概要を捉えることが必要。

4 (放送問題)

あなたは、教室にマリア先生のしょうかいコーナーを作るために、マリア先生にケンタさんとインタビューをします。あなたが聞きたいことは下の【メモ】に書いてあります。

あなたより先にケンタさんがマリア先生に質問をします。その会話を一度聞いてみましょう。



マリア先生

ケンタ

(問題)

次は、あなたがマリア先生に質問をする番です。【メモ】に書かれていることを知るために、あなたはマリア先生にどんな質問をしますか。これから放送される1から3の質問の中から1つ選び、その数字を□の中に書きましょう。



【メモ】



ケンタ

この後ケンタさんとマリア先生の会話と質問を、もう一度放送します。

【ケンタさんとマリア先生の会話】

- ケンタ : Hello, Maria sensei. We have some questions. OK?
- マリア先生 : Sure.
- ケンタ : I like sports. I like P.E.. What subject do you like?
- マリア先生 : I like science.
- ケンタ : Me, too. I want to go to India. Where do you want to go?
- マリア先生 : I want to go to Brazil.
- ケンタ : Brazil? Why?
- マリア先生 : I like soccer. I want to watch soccer games in Brazil.
- ケンタ : Oh, nice. Thank you.

【問題】

- 1 What sport do you like?
- 2 Do you like music?
- 3 What food do you like?

【通過率 89.1%】

「メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること」の問題例

外国語 第6学年「読むこと」 大問7(2)

○おすすめの国について書かれたパンフレットを読み、内容に合うイラストを選ぶ問題

・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かることが必要。

- 7 マリア先生は、校内のある先生のリクエストにこたえて、おすすめする国のパンフレットを作っています。右のページのパ
ンフレットを見て、(1)と(2)の問題に答えましょう。

【マリア先生が作っているパンフレット】



Australia

You can see kangaroos.

You can see koalas, too.

You can eat beef steak.

It's delicious.





★イラスト

- (2) マリア先生は、★イラストの部分にパンフレットの内容に合うイラストを1つ加えて完成させることにしました。マリア先生が加えるとよいものを次の1から4の中から1つ選び、その数字を□の中に書きましょう。

1 	2 
3 	4 

2

(12)

【通過率 86.6%】

「音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くこと」の問題例

「例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くこと」の問題例

外国語 第6学年「書くこと」 大問11(2)(3)

○I likeに続けて自分の好きなものやことを語群から選ぶなどして書く問題 (2)

- ・音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くことが必要。

○自分のことを相手に知ってもらうために、例文を参考にしながら、相手に伝わるように自分を紹介する文を書く問題 (3)

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くことが必要。

11 あなたの学校では、同じ中学校に進学するとなりの小学校と、自己しょうかいの手紙を交かんすることになりました。サキさんとケンタさんが書いた手紙を参考にして、あなたも次のことに気をつけて自己しょうかいの手紙を書きましょう。

【気をつけること】

- ・あなたのことを知ってもらえるように書きましょう。
- ・相手が読みやすいように、ていねいに書きましょう。
- ・配られた【ワードリスト】を参考にしてもかまいません。ただし、それ以外のものは使えません。

【ワードリスト】の例

Sports 運動



Actions 動作



鈴木 サキ

Hello. I'm Saki.

I like P.E.

I can dance well.

Thank you.



石山 ケンタ

Hello. I'm Kenta.

I like curry and rice.

I'm good at cooking.

Thank you.



あなたのことについて、(1)と(2)は前に続けて書きましょう。
(3)は最初から書きましょう。

Hello. I'm (1).

(17)

I like (2).

(18)

(3).

(19)

Thank you.

(2) 【通過率 99.0%】

(3) 【通過率 79.5%】

【実技調査】「自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うこと」の問題例

外国語 第6学年「話すこと [やり取り] 」 大問12(2)(4) ※実技調査においては、調査の設計上、調査対象数(学校数・児童数)が限定されている

○好きなものなどについて尋ねられたことに答える問題 (2)

・自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問に答えることが必要。

○相手のことをよく知るために質問する問題 (4)

・相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問することが必要。

評価者①：順番を待っている間にこの◆カードに書かれていることを読んでください。

評価者①：部屋に入ってください。

◆面接前に全員に見せるカード
面接を受ける前に、面接用教室の前で児童が読むように「カード」を用意する。

【カード】

これから、〇〇先生のことをよく知ったり、あなたのことをよく知ってもらったりするために〇〇先生と英語で話をします。まず、〇〇先生からの質問に答えたり、あなたから質問したりします。その後、あなたのことについてさらに話します。



12

評価者①：カードは読みましたか。これから〇〇先生(ALT)と英語で話をします。まず、〇〇先生から話し始めます。

※ その場で質問に答える。

(1)

ALT：Hello. I'm 〇〇. What's your name?

児童： (例) My name is ~. 他

(2)

ALT：Let's talk about favorite sports. I like soccer.
Do you like soccer?

児童： (例) Yes, I do. 他

【通過率 94.4%】

(3)

ALT：Let's talk about favorite colors.
What color do you like?

児童： (例) I like blue. 他

評価者①：次は、あなたが〇〇先生(ALT)に英語で質問する番です。(◆イラストのカードを児童に渡す。)このイラストを参考にして、〇〇先生がほかに好きなものについて英語で1つ質問しましょう。
それでは、どうぞ〇〇先生に質問をしてください。

※ その場で質問をする。

(4)

児童： (例) What animal do you like? 他

【通過率 85.6%】

◆全員に見せるイラストのカード
児童が質問を考える際の参考になるよう、「イラスト」を用意する。

【◆イラスト】



【実技調査】「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと」の問題例

外国語 第6学年「話すこと〔発表〕」 大問13

○自分のことを相手に知ってもらうために、小学校生活の思い出について自分の考えや気持ちなどを含めて話す問題

・聞き手に分かりやすく伝わるように、話す内容を選んだり順番を決めたりして話すことが必要。

評価者①：順番を待っている間にこの◆カードに書かれていることを読んでください。

評価者①：部屋に入ってください。

◆面接前に全員に見せるカード

面接を受ける前に、面接用教室の前で児童が読むように「カード」を用意する。

【カード】

これから、〇〇先生のことをよく知ったり、あなたのことをよく知ってもらったりするために〇〇先生と英語で話をします。まず、〇〇先生からの質問に答えたり、あなたから質問したりします。その後、あなたのことについてさらに話します。



13

評価者①：続いて、あなたの小学校生活の思い出についても、〇〇先生（ALT）がくわしく教えてほしいそうです。

まず、〇〇先生が自分の小学校での一番の思い出を話します。それを聞いてから、あなたの小学校での一番の思い出がよく伝わるように話しましょう。

ALT: (◆「思い出のイラスト」カードを見せながら)

※イラストを指差すことはしない。

My best memory is the summer camp.

I went to the sea. It was beautiful.

I enjoyed fishing. It was fun.

I ate watermelon. It was delicious.

Thank you.

(◆「思い出のイラスト」カードをふせる)

評価者①：(ALTの話終了後)次はあなたが、小学校での一番の思い出について話す番になります。話す内容を45秒間考えた後、30秒間話す時間があります。それでは内容を考えましょう。

(45秒たって評価者①から合図の後)

ALT: It's your turn. Please start.

(児童の発表)

(例)

My best memory is the school trip.
I saw Osaka castle. It was cool.
I went to Kyoto.
I enjoyed shopping. It was fun. 他

【(知識・技能)通過率 62.2%】

【(思考・判断・表現)通過率 62.5%】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 具体的な活動や体験を通じて、「身近な生活に関する見方・考え方」を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを明確化した。
- 入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導などの工夫（スタートカリキュラム）を行うことを明示した。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現する生活科の特質を踏まえた授業の質問への肯定的な回答は95%を上回っており、着実に実施されている。
- 幼稚園や保育所等と連携しながらスタートカリキュラムの作成を行うことは、前回調査の類似質問の結果と比べて改善傾向がみられるが、他の質問と比較して肯定的な回答は61.6%と低い傾向にある。
- 他教科等との関連を図った授業や中学年の各教科等への接続を意識した授業に関する質問への肯定的な回答は85%を上回っているが、「行っている」という回答は30%を下回っており他の質問と比較して低い傾向にある。
- 児童の興味・関心を生かして資質・能力を身に付ける授業が展開されている傾向が見られるが、「生活や出来事の伝え合い」においては、児童の興味・関心、児童の身に付けやすさ、共に80%を下回っている。

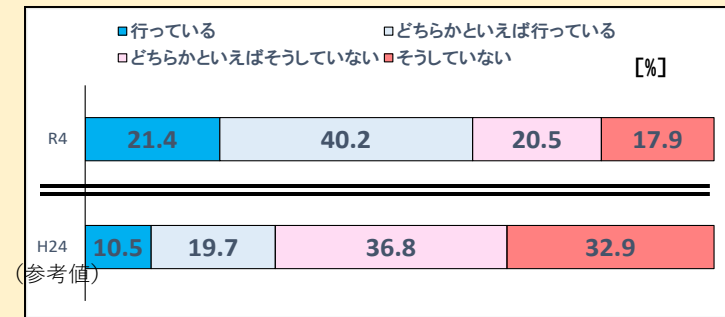
3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・スタートカリキュラムの充実を引き続き促すとともに、低学年における教育課程全体を充実するために、生活科と他教科等との関連を積極的に図るとともに、中学年以降の教育への接続を意識することが必要である。
 - ・「生活や出来事の伝え合い」の指導では、他者と進んで触れ合い、継続的に交流する学習活動を充実させることが必要である。

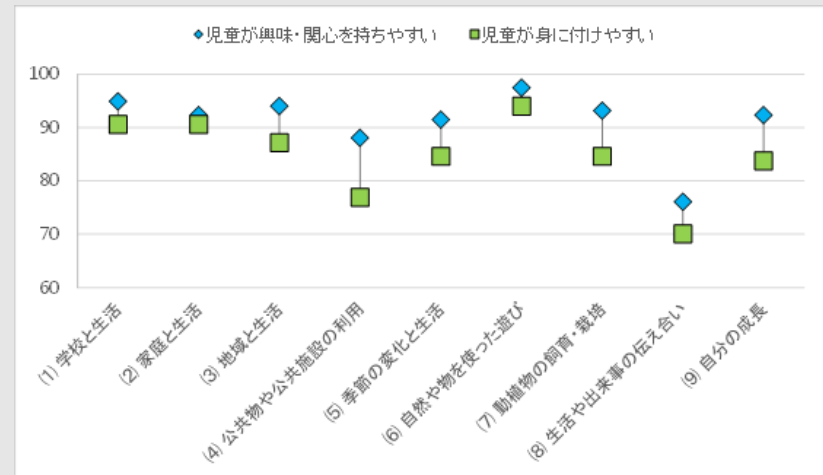
4. 調査結果例（オンライン質問調査 小学校/教師）

スタートカリキュラム作成にあたって、幼稚園・認定こども園・保育所と連携し、接続を意識しながらカリキュラムの作成を行っている。

※H24の類似質問「スタートカリキュラム作成にあたって、幼稚園や保育園と連携協力しながらカリキュラムの作成を行っていますか」との比較。



各内容に対する教師の意識



1. 平成27年及び平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 道徳の特別の教科化により、「答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育へと転換し、児童の道徳性を養う。
- 検定教科書を導入。内容について、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善。
- 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫。数値による評価ではなく、児童の道徳性に係る成長の様子を認め、励ます個人内評価（記述式）。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 教師オンライン質問の「特別の教科 道徳」の目標に係る2種類の質問では、肯定的回答が90%以上あった。一方、児童質問紙調査の目標に係る2種類の質問では、否定的回答の割合が13%から20%程度あった。教師の指導に関する認識と児童の受け止めに10ポイント以上の差がある。
- 「特別の教科 道徳」の児童質問紙調査の項目と、共通質問における自己肯定感や多様な考え方を理解しようとする態度、成長の実感等に関する質問や、特別活動におけるいじめのない学級や学校をつくることに関する質問との間に相関が見られた。

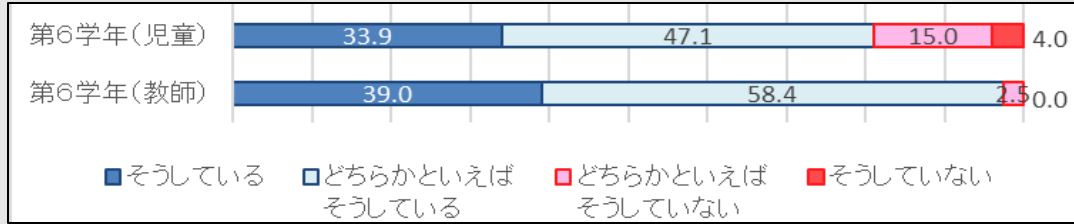
3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・「内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間」という道徳科の特質や目標を踏まえ、より一層「考え、議論する道徳」の質的充実、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図っていく必要がある。
 - ・道徳科の指導の積み重ねと、児童の自己肯定感や多様な考えを理解しようとする態度、いじめの未然防止に関する認識等については関係が深いと考えられることから、引き続き、道徳科を要とした道徳教育について、内容項目の相互の関連性や、学年段階ごとの発展性を考慮して指導を行っていくことが重要である。

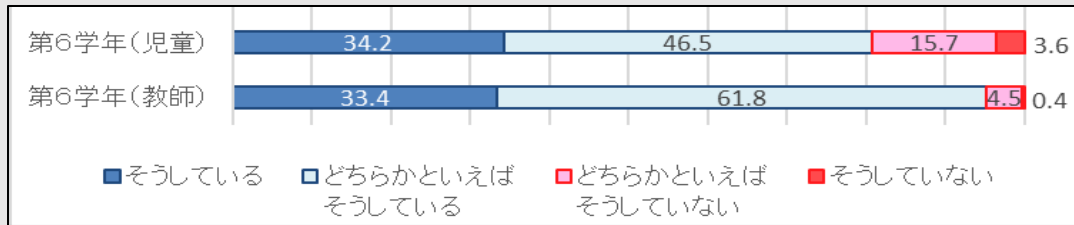
4. 調査結果例（質問調査 小学校 道徳科）

質問項目（第6学年）「特別の教科 道徳」の目標に係る質問

- ・よりよく生きるために大切なことを、自分の生活を見つめて考えている
- ・児童が道徳的価値の理解を基に、自己を見つめられるような授業を行っている



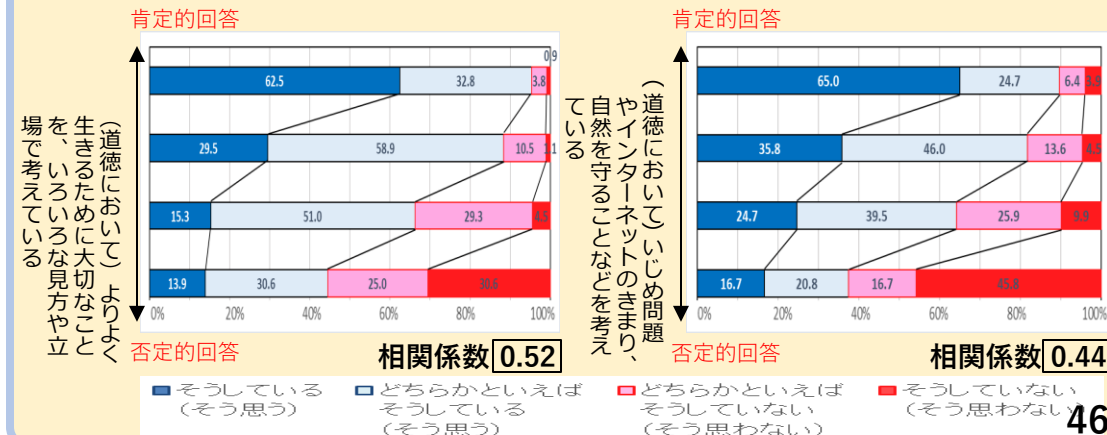
- ・よりよく生きるために大切なことを、いろいろな見方や立場で考えている
- ・児童が道徳的な問題を、多面的・多角的に考えられるような授業を行っている



質問項目（第6学年）共通質問、特別活動との相関

（共通）自分とちがう考えを理解しようと努める

（特別活動）（特別活動において）みんなで協力して活動することで、いじめのない学級や学校をつくることができる



1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 中学年に外国語活動、高学年に外国語科を導入。小・中・高等学校で一貫した学びを重視し、中学年で三領域の英語の目標を設定し、音声中心の指導を行い、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 児童質問紙調査では、英語の学習について肯定的な回答の割合が高い。また、「英語の学習が好き」については学年を経るごとに下がる傾向があるが、「今後もっと、英語を聞いて相手の言いたいことがわかったり、英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表できるようになりたい」という英語を学ぶことへの意欲はどの学年でも高く、第6学年で更に増加する。同様に、「英語の授業がわかる」についても、高学年で肯定的な回答の割合が増え、第6学年で最も高い割合になる。
- 教師オンライン質問調査では、全ての項目で肯定的な回答の割合が高い。しかし、考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする活動については、教師の指導に関する認識と児童（第4学年）の受け止めに差がある。

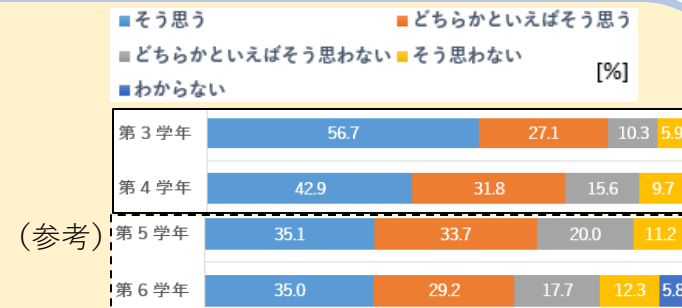
3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・平成29年改訂のポイントを踏まえつつ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を意識した言語活動を通じた指導を重視。
 - ・高学年での外国語科の学習につながるように、中学年において自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする言語活動を引き続き十分に行い、音声に慣れ親しませるとともに、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験させることを重視。

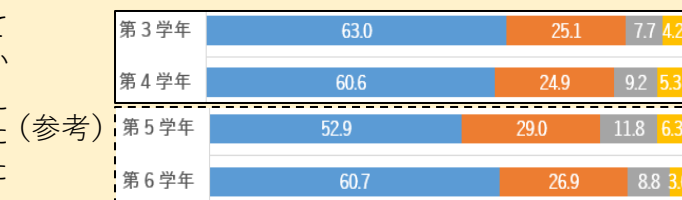
4. 調査結果例（質問調査 小学校/外国語活動）

【児童質問紙調査】

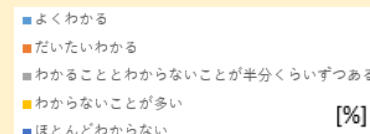
- ・英語の学習が好きだ



- ・今後もっと、英語を聞いて相手の言いたいことがわかったり、英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表できるようになりたい



- ・英語の授業がどの程度わかりますか



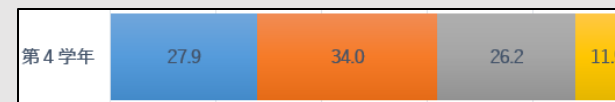
【教師】

- ・英語の授業で、児童が互いの考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする活動をしている



【児童】

- ・英語の授業で、自分のことについて考えや気持ちなどを英語で伝え合ったり発表したりしようとしている



1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すことを明確化。
- 探究の過程（「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」）のうち、「整理・分析」、「まとめ・表現」に課題が見られたことを踏まえ、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動（「考えるための技法」の活用を含む。）等を明確化。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 児童質問紙調査では、前回調査で課題とされていた「整理・分析」「まとめ・表現」は、今回調査では肯定的な回答がそれぞれ70%以上である。
- 「課題の解決に向けて、友達や地域の人と進んで関わっている」ことについて肯定的な回答が70%を下回っており、他より低い傾向にある。
- 教師オンライン質問調査では全体的に肯定的な回答が80%以上であるが、資質・能力の育成に向けた指導計画の位置付けや指導と評価の一体化に関する質問では「そうしている」という回答が30%を下回っている。
- 4年生以上の児童においては、「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程について肯定的に回答している児童と多くの教科のペーパーテストの平均通過率等との相関が見られる。
- 総合的な学習の時間の全質問項目と共通質問における自己肯定感、協働、粘り強く課題に取り組む態度に関わる質問との相関が見られる。

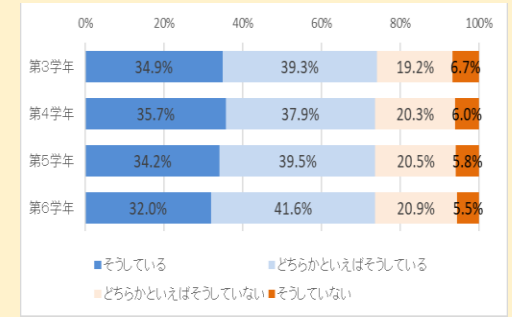
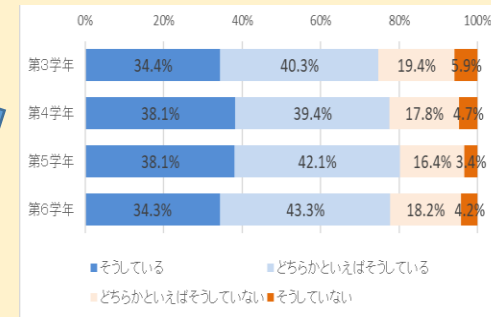
3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・課題の解決に向けて、他者と協働して主体的に学ぶことや、地域と連携した学習活動を積極的に取り入れることを促す。
 - ・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために指導と評価の一層の充実を図る。

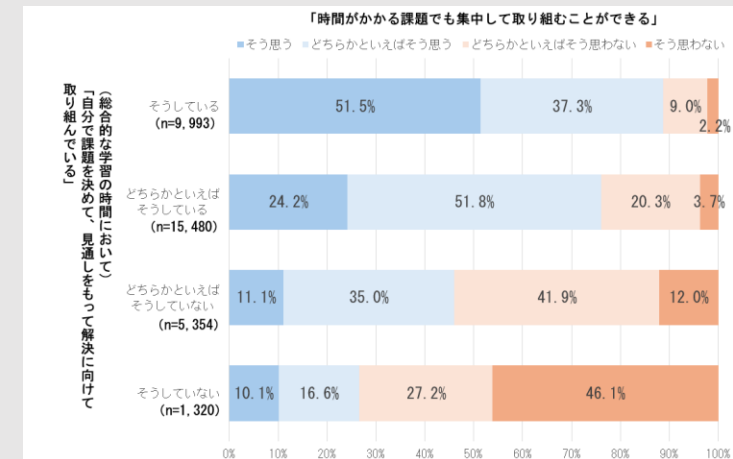
4. 調査結果例（質問調査 小学校/児童）

集めた情報を比べたり、分けたり、つなげたりしながら、整理して考えている。

自分の考えを相手や目的に合わせて、分かりやすくまとめたり発表したりしている。



第6学年の総合的な学習の時間の質問と粘り強く課題に取り組む態度に関わる質問との相関※他学年も同様



相関係数
0.50

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 育成を目指す資質・能力の視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を踏まえて目標及び内容を整理し、各活動及び学校行事で育成する資質・能力を明確化。特に自治的能力や主権者として積極的に社会参画する力を重視。
- 学級活動における児童の自発的、自治的な活動を中心として学級経営の充実を図る際に、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図ることを明記。
- 学校教育全体で行うキャリア教育の要としての役割を果たすことを明確化。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 育成を目指す資質・能力の視点の6項目の質問のうち、5項目については児童の肯定的な回答が80%を超えている。ただし、「社会参画」に関する質問である「自分のがんばりで学級や学校をよりよくすることができる」についての肯定的な回答は70%程度であった。
- 学級活動に積極的に取り組んでいる児童は、自己肯定感や自他理解、協働、粘り強く取り組む態度に関する項目について肯定的な回答をする傾向が見られた。また、96%以上の教師と80%以上の児童が、特別活動について、いじめの未然防止などに役立つと感じている。しかし、自発的、自治的な活動である学級会の取組状況についての肯定的な回答は、教師が90%程度であったのに対し、児童は60～70%程度であった。
- キャリア形成につながる、目標をもって実践する活動の取組について、90%以上の教師が肯定的な回答をしている。一方、「そうしている」と強く肯定する教師は30%を下回っており、他の項目と比較してやや低い傾向にある。

3. 2の調査結果を踏まえた改善の方向性

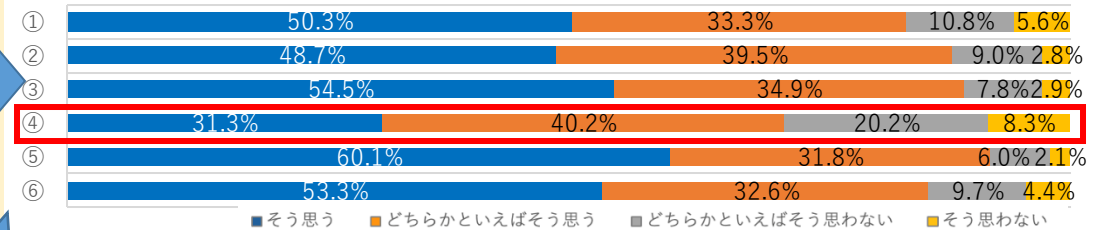
- 指導上の改善点
 - ・資質・能力の視点「社会参画」に関する課題を踏まえ、特別活動において「自分のがんばりで学級や学校をよりよくすることができる」と実感できるように活動の充実や指導の改善を図る。
 - ・いじめの未然防止などに対して、多くの教師と児童が特別活動が役立つと感じていることから、さらなる指導の充実が求められる。
 - ・学級活動の「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」の授業について、話合いや「キャリア・パスポート」を意思決定に生かし、「自己実現」へとつなげることができるようにする。

4. 調査結果例（質問調査 小学校 特別活動）

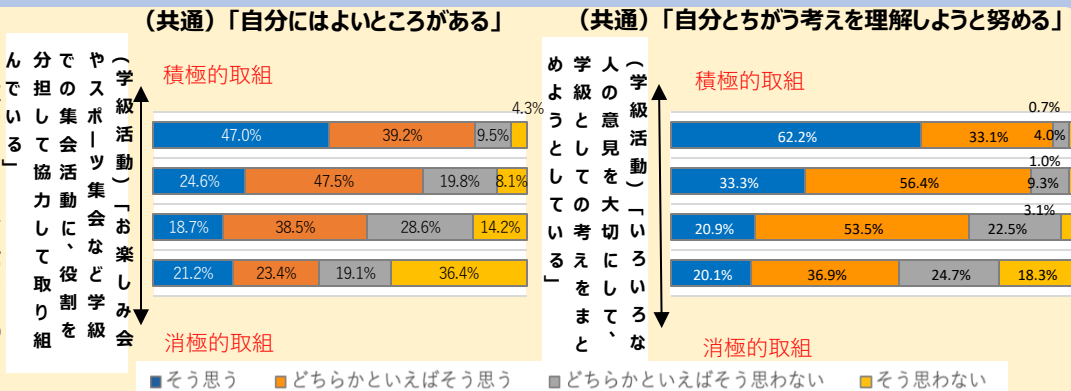
質問項目（第6学年）

○「特別活動」で育成を目指す資質・能力の視点に関する質問

- 人間関係形成 ① みんなで協力して活動することで、いじめのない学級や学校をつくること
社会参画 ② ちがいを認め合い、みんなと共に生きていく力がつく
③ みんなで話し合うことで、学級や学校の生活を楽しむことができる
自己実現 ④ 自分のがんばりで学級や学校をよりよくすることができる
⑤ めあてを決めて努力することは、自分の将来に役立つ
⑥ 自分のよいところや得意なことを、生かしたり伸ばしたりすることができる



○学級活動と共通質問の関連（第6学年）



○自発的、自治的な活動である学級会の取組に関する質問（第6学年）

教師 学級会の議題について、児童の思いや願いを生かして選定できるように指導している
児童 学級会で話し合いたいこと（議題）を見つけている

